

第373回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和4年11月28日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、第373回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

師走を目前にして、朝晩めっきり冷え込む季節となっております。

三木山森林公園をはじめ、金剛寺、慈眼寺、伽耶院、吉祥寺、法光寺など三木市の紅葉の名所では、深まる秋を楽しもうと多くの観光客の皆さまにお越しいただきました。

これから本格的な冬の到来となりますが、新型コロナウイルスの感染状況は、第8波に入ったとみられる中、県内におきましても新規感染者数は増加傾向にあります。新型コロナウイルス

とインフルエンザとの同時流行も指摘されており、医療体制のひっ迫が懸念されております。このような中、オミクロン株対応ワクチンの接種を希望される方が増加しております。市が旧志染中学校で行う集団接種では、11月と12月の予約枠を拡充することで、接種を希望される方が迅速かつ円滑に接種を受けられる体制を整え、市内医療機関で行う個別接種との両輪で、ワクチン接種を推進してまいります。市民の皆さまにおかれましては、これまで同様、マスクの着用、3密の回避、手洗いなどの感染予防対策の徹底をお願いいたします

新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、物価高騰が続く中で、市民生活や事業者は大きな打撃を受けています。市としては、これまでから市民のくらしや事業者を守るための施策に取り組んでおり、本年6月定例会でご承認いただいた補正予算により、市内の参加店舗で利用可能な5,000円分の市民生活応援チケットをすべての市民に順次お届けしております。使用期間については、12月1日から来年1月31日までとしておりますので、ぜひご利用いただきますようお願いいたします。また、このたび、市民生活や農業者を守るためのさらなる施策を取りまとめ、補正予算案を編成しました。内容としましては、妊娠

時と出生時にそれぞれ5万円の給付金を支給する「出産・子育て応援事業」、小・中・特別支援学校の3学期の給食費の無償化、高校生世代を対象とした給付金の支給により幅広く子育て世帯への支援を行うとともに、飼料や肥料の高騰により大きな打撃を受けておられる農業者への支援を行うものです。市としましては、必要な支援を一刻も早くお届けするよう対応してまいります。

さて、10月には、ゴルフのまち三木を全国にPRする機会が多くありました。まずは、三木市において、日本オープンゴルフ選手権、マスタースGCレディースが開催され、トップ選手たちの熱いプレーが繰り広げられました。

また、スナッグゴルフ対抗戦JGT Oカップ全国大会も開催され、全国から勝ち進んだ24チーム124名の選手が三木市に集まり、熱戦を繰り広げました。この大会では、三木市の広野小学校チームが5位入賞と健闘しました。出場した小学生は、県内外の強豪選手とプレーを交えたこと、国内外で華やかな成績を残すトップレベルのプロゴルファーとプレーできたことで、ゴルフへの関心もより強くなったことと思います。今後も市を挙げてジュニアゴルファーの聖地化と育成に取り組んでまいります。

ます。

さらに、市と連携協定を締結している日本プロゴルフ協会によるゴルフ体験会など、ゴルフを始めるきっかけづくりの機会も設けており、ゴルフ人口のすそ野を広げる取組についても継続してまいります。

1 1月5日、6日の2日間は、3年ぶりに三木金物まつりを開催することができました。今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、「ハーフスタイル」と銘打ち、規模を縮小しての開催となりました。ステージイベントは中止し、飲食物はテイクアウトのみ、出展規模は従来の半数程度としましたが、天候にも恵まれ、2日間で9万人の方が来場されました。来場者数はコロナ前よりも少ないですが、両日とも開場前から行列ができるなど、たくさんの方が開催を楽しみにされていたことを実感しました。コロナ禍が長期化する中、イベントや行事などを従来どおりに開催することは難しいですが、知恵を絞り、工夫をこらしながら、「ウィズコロナ」の開催スタイルを模索し、まちの活性化を図ってまいります。

さて、このたびの市議会定例会は、条例関係が8件、補正予算

関係が8件、指定管理者の指定が3件、併せて19件の提案を予定いたしております。

どうか慎重なるご審議をいただき、ご賛同を賜りますようお願い申し上げます、開会のあいさつといたします。